



学校だより



凛として 挑む

~未来永笑をめざし「自らを律する力」と「自ら学ぶ力」を
共に育む 山階南~

令和5年10月27日

京都市立山階南小学校 校長 林 正和

Tel:592-2849 Fax:592-2851

E-mail:sankaiminami-s@edu.city.kyoto.jp

保護者の皆様におかれましては、益々ご健勝のことだと思います。平素は本校教育にご理解ご協力いただき、誠にありがとうございます。

さて、7月に行いました「子どもたちの生活をよりよいものにするための自己評価」を通して、「保護者」「児童」「教職員」それぞれの立場で自分自身を振り返る契機とさせていただきました。ご協力ありがとうございました。

今年度は、「凛として 挑む」の後に続く副題を~未来永笑をめざし「自ら律する力」と「自ら学ぶ力」を「共に育む 山階南~」と変更しております。今年度大切にしたい「自らを律する力」「自ら学ぶ力」という視点、また「めざす子ども像」の4つの視点で分析・考察しました。いただいたご意見や、その結果をもとに現状を把握し、今後の学校の取組に生かしてまいります。また今後も検討し対応できることは、引き続き改善していきたいと考えています。保護者の皆様とも、子どもたちにとってよりよい学校生活が送れるように、これからも努めていきたいと思います。また、後期学校評価アンケートも予定をしていますので、ご協力いただければと思います。

今後ともどうぞよろしくお願ひいたします。

【アンケート全項目結果】

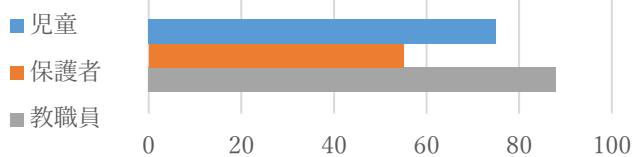
	【児童】	そう思う	だいたい そう思う	あまり そう思わない	そう思わない
1	(1~2ねんせい) じゅぎょうを とおして タブレットや パソコンのつかいかたが わかってきている。	66%	26%	5%	3%
2	(1~2ねんせい) きまりを まもって タブレットや パ ソコンを つかうことが できている。	69%	22%	8%	2%
3	(3~5年生) 多くのじゅぎょうで、タブレットやパソコンを つかっている。	41%	45%	11%	4%
4	(3~6年生) かてい学習で、タブレットやパソコンを かつようしている。	34%	26%	24%	16%
5	(3~6年生) きまりを まもって タブレットやパソコンを つかうことができている。	59%	30%	7%	3%
6	自分から すすんであいさつが できている。	48%	31%	16%	5%
7	こまつたことがあれば、先生に そだんしている。	30%	37%	22%	11%
8	自分の よいところが いえる。	28%	32%	25%	15%
9	ともだちを たいせつにし、なかよくしている。	68%	27%	4%	1%
10	わすれもののがなく、学習のじゅんびが できている。	35%	46%	14%	5%
11	かかりや そうじ・きゅうしょくとうばんの しごとを、さい ごまで できている。	61%	30%	7%	2%
12	つかったどうぐや ばしょを ていねいに かたづけてい る。	48%	38%	11%	4%
13	じゅぎょうが たのしく よくわかる。	47%	38%	11%	4%
14	じゅぎょう中、人の話を さいごまで しっかり きいて いる。	46%	43%	9%	3%
15	じゅぎょう中、自分からすすんで、学習している。	45%	35%	16%	4%
16	かてい学習や しゅくだいを 自分から すすんでしてい る。	51%	33%	12%	4%
17	本を よく読んでいる。	41%	24%	18%	17%
18	山階南のちいきのことが すきである。	64%	24%	8%	4%

【保護者】		よくできている	大体できている	あまりできていない	できていない
1	お子さんが自分から進んで挨拶をするように、家でも挨拶をしている。	27%	59%	14%	0%
2	お子さんが困ったときには、先生に相談するように言っている。	28%	61%	11%	0%
3	お子さんのよさを認め、ほめるようにしている。	22%	65%	12%	0%
4	お子さんに、友達を大切にし、仲良くするように働きかけている。	37%	59%	4%	0%
5	お子さんに、忘れ物なく学習準備する習慣が定着するように働きかけている。	28%	57%	15%	0%
6	わが家では、お子さんが掃除や後片付けの習慣がつくように役割を決めている。	11%	31%	51%	7%
7	お子さんが片付けができるよう働きかけている。	13%	53%	33%	2%
8	お子さんは、授業が楽しく分かりやすいと言っている。	19%	55%	22%	4%
9	お子さんに、人の話をしっかり聞くよう働きかけている。	23%	65%	12%	0%
10	お子さんに、授業中、進んで学習するよう励ましている。	15%	58%	26%	1%
11	お子さんに、宿題などの家庭学習の習慣が身に付くよう働きかけている。	28%	57%	15%	1%
12	お子さんに、本をよく読むようにすすめている。	13%	31%	42%	15%
13	家庭や地域等で、山階南の地域の良いところを話したり、ふれあったりする機会をもっている。	3%	19%	61%	17%
14	学校は、タブレットやパソコンを使った授業に力を入れている。	22%	55%	20%	3%
15	お子さんは、家庭でタブレットやパソコンを活用して学習している。	19%	32%	33%	16%
16	お子さんは、家のきまりを守り、タブレットやパソコンを使っている。	16%	43%	30%	11%
17	学校はホームページや学校だより、学級だよりなどで子どもたちや学習の様子を伝えている。	21%	63%	13%	2%
18	教職員は、一人ひとりの子どもを大切にし、子どもからの相談に親身に対応している。	22%	65%	11%	1%
19	授業や活動の中で、子どもが活躍できる場や認められる場がある。	18%	71%	11%	0%

【教職員】		よくできている	大体できている	あまりできていない	できていない
1	児童が自分から進んで挨拶ができるように教職員自ら挨拶している。	41%	53%	6%	0%
2	児童に寄り添い、思いを傾聴している。	31%	69%	0%	0%
3	児童のよさを積極的に見つけ、認め、ほめている。	25%	69%	6%	0%
4	児童が友達を大切に、仲良くできる学級づくりに取り組んでいる。	6%	81%	13%	0%
5	児童に忘れ物なく学習準備する習慣が定着するよう働きかけている。	6%	69%	25%	0%
6	児童が係や当番の仕事を最後までできるように働きかけている。	13%	69%	19%	0%
7	児童に片付けができるよう働きかけている。	0%	94%	6%	0%
8	児童が楽しくよくわかるよう学習課題・めあてとまとめ・振り返りを行っている。	6%	75%	19%	0%
9	児童が授業中、人の話を最後までしっかり聞くよう働きかけている。	13%	69%	19%	0%
10	児童が授業中、進んで学習するよう働きかけている。	19%	75%	6%	0%
11	児童に家庭学習の習慣が定着するように働きかけている。	13%	53%	33%	0%
12	児童に読書の習慣が定着するように働きかけている。	19%	38%	31%	13%
13	山階南地域の良さを学べるような教材・単元づくりをしている。	0%	44%	38%	19%
14	多くの授業で、タブレットやパソコンを使った授業をしようとしている。	31%	50%	19%	0%
15	家庭学習で、タブレットやパソコンを活用するような働きかけをしている。	0%	47%	27%	27%
16	児童がタブレットやパソコンのルールを守れるように、指導している。	0%	88%	13%	0%
17	各部や係、学年の中で無駄を無くし効率的に仕事を進めようとしている。	6%	75%	13%	6%

自ら律する力

決まりを守ることについて



《質問番号》

【児童】

2、4、5

【保護者】

15、16

【教職員】

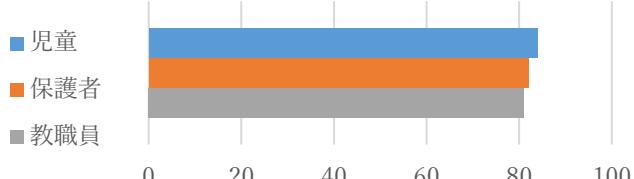
16

学校教育目標の副題の一つとなっている「自ら律する力」に関する項目です。児童質問番号2や5の結果からもおよそ90%の児童が決まりを守ってタブレット等を活用することができていると答えています。また教職員質問番号16の結果のように、指導したことが結果につながっていると考えられます。ただし、保護者質問番号16の結果のように、家ではおよそ60%が守れていると回答があるように、家と学校ではかけ離れた結果となりました。このことからも、家ではなかなかルールが守れない状況があるようです。また、およそ60%の児童が家庭学習として活用していると回答していますが、保護者はおよそ50%が家庭学習で活用していると答えています。なかなかうまくタブレット等を活用して、学習を進められていないことが伺えます。

タブレット等は、使い方によっては大変便利な道具です。子どもたちにとっても、自分のペースで学習を行ったり、知りたいことを調べたりするのにも有効かと思います。その反面、遊びに使ってしまったり興味があるからこそ、時間などのルールが守れなかったりすることがあると思います。引き続き、学校ではもちろんお家でもルールの大切さについてお話しただけると幸いです。また、タブレット等の問題だけではなく、決まりを守ることの大切さやみんなが気持ちよく生活することについて、一緒に考えていただけたとありがたいです。

自ら学ぶ力

進んで学習することについて



《質問番号》

【児童】

14、15、16

【保護者】

9、10、11

【教職員】

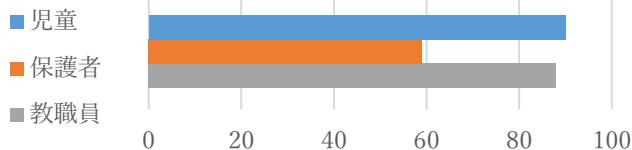
9、10、11

学校教育目標の副題の二つ目となっている「自ら学ぶ力」に関する項目です。児童・保護者・教職員共におよそ80%が「そう思う（よくできている）、大体そう思う（大体できている）」と回答しています。このことからも、学校・家庭で話をしていることが子どもたちに響き、子どもたちもがんばろうと努力しているのではないかでしょうか。日々のお声かけや取り組みが結果としてつながっているように思います。「自ら律する力」のところでも示したように、家庭においてタブレット等を使って学習を進んで行うのには、今後の積み重ねが大切になってくると思いますが、それでもやろうと努力している姿が結果として出てきているのは素晴らしいことだと思います。

また、4年生以上につきましては、決められた宿題のみを行うのではなく、今度国語のテストがあるから漢字の練習をしておこうなど、自ら計画立てて学習を進めていく取組も行っています。計画を立てるときに難しさを感じる子や実際にそれが点数に反映されることがない場面もあるようですが、それでも計画を立てることや見通しを持つこと、学ぶ大切さや面白さを感じることなど、いろいろと感じてほしいと思います。引き続き、いろいろな取組を行いながら、子どもたち自身が自ら学ぶことの大切さを感じ、進んで学習できるように努めています。保護者の方々につきましても、子どもたちの学ぶ様子を見ていただきながら、子どもたちの成長を感じていただけたと幸いです。

優しくできる子

優しくできる子について



«質問番号»

【児童】

6、8、9、12、14、18

【保護者】

1、3、4、9、13、18、19

【教職員】

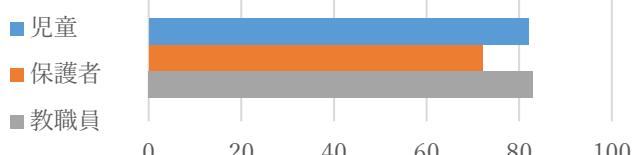
1、2、3、4、9、13

めざす子ども像「優しくできる子」に関する項目です。児童質問番号6にもあるように、自分から進んであいさつをしたり、質問番号12のように後のことを考え、使ったものをもとに戻したりするなど相手のことを考えながら行動できる子がおよそ80%います。また、質問番号9のようにおよそ95%が友達のことを大切にし、仲良くすることもできています。その反面、5%の子が仲良くできていないと回答し、質問番号7のよう困ったことがあれば先生に相談できていない子がおよそ30%います。友達関係など悩みを抱え、それを先生たちに相談できずに苦しんでいる子もいるかもしれません。このことからも、引き続き学校として子どもたちに寄り添い、安心して学校生活が送れるように努めています。保護者の方々からもさらに親身に対応していると感じてもらえるようにしていきたいと思います。

保護者質問番号13の結果のように、コロナ禍が続いたこともあり、なかなか話し合ったり触れ合ったりする機会が減ったと思います。地域の子は地域で見守ると言ったように、つながりを大切にし、温かい地域がこれからも見られることを楽しみにしています。優しさあふれる、つながりの多い、そんな地域の一員として子どもたちにも地域の良さについて話し、取り組んでいきたいと思います。

考え、正しく判断する子

考え、正しく判断することについて



«質問番号»

【児童】

2、4、5、7、9、11

【保護者】

2、4、6、16

【教職員】

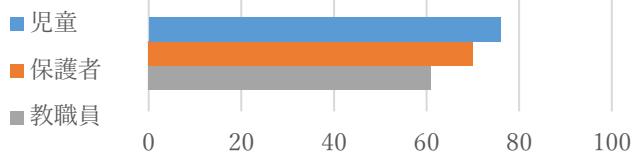
3、4、6、11、16

めざす子ども像「考え、正しく判断する子」に関する項目です。関連質問番号の結果からもおよそ80%の児童が「そう思う、大体そう思う」と回答している。このことからも何がよくて何がよくないのかを考え判断しようと心がけていることがわかります。また、家庭や学校で取り組んでいることが、判断の手助けとなっているように思います。

保護者質問番号6や教職員質問番号11のように、なかなかできていないと感じている項目については、実際子どもたちもできていないことがある。これらのことからも、学校や家庭がそれぞれ同じ方向を向いて子どもたちに大切なことを伝えることでより効果的だということが考えられます。日々子どもたち自身も忙しい中ですが、たまに立ち止まり何がよくて何がよくないのかを考え、正しく判断できるためにも判断基準となる考え方や行動のとり方を保護者教職員一丸となって、子どもたちに伝えていけるとよいなと思います。なかなか保護者の皆さんと思いを共有する時間が持てないところが申し訳ありませんが、授業参観や懇談会、日々の学級・学年通信等を通して子どもたちにとって良いなと思うことを発信していきたいと思います。

粘り強く挑戦する子

粘り強く挑戦することについて



《質問番号》

【児童】

4、7、13、14、15、16、17

【保護者】

2、8、9、10、11、12、13、15、18

【教職員】

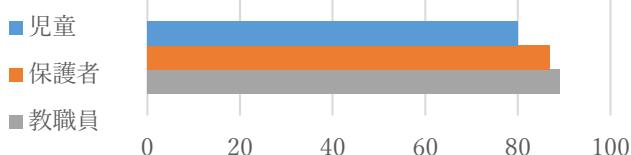
2、3、4、8、9、10、12、13、14、15

めざす子ども像「粘り強く挑戦する子」に関する項目です。児童質問番号の結果からも、学校での学習や家庭学習、宿題など与えられた課題に関しては、およそ80%できていると回答しているが、質問番号4や17のように自らタブレット等を使って調べてみたり、本を読んで知識を広げたりすることに関しては60%程度となっている。また質問番号7のように困ったことがあってもなかなか先生に相談できずにいることもある。このことからも、目の前にある課題に関してはおおむね取り組むが、困ったことあったり、そこからさらに調べてみたりなど、学びをつなげていこうとすることに対しては、少し消極的なところがあるよう思います。

保護者質問番号8のように、授業が楽しくわかりやすいと子どもが話しているのが、およそ75%と子どもにとって授業に興味関心をもって取り組んでいることもわかる。その反面、25%程度の児童が授業に関して苦手意識や嫌な思いをもっているように思います。教職員質問番号8のように、楽しくよくわかるように学習を進められるように今後とも心がけていきたいと思います。また、タブレット等を活用するなど、自分が問題解決の中で困りが出た時には、どのようにして調べていくとよいのかなど、その時の解決方法についても一緒に確認していきたいと思います。

笑顔で元気な子

笑顔で元気なことについて



《質問番号》

【児童】

6、7、8、9、12、13、14

【保護者】

1、2、3、4、8、9、17、18、19

【教職員】

2、3、4、8、9

めざす子ども像「笑顔で元気な子」に関する項目です。休み時間になると多くの子たちが運動場に出るなど元気な姿をたびたび見ることができます。児童質問番号6や9のように、80%程度の児童が自分から進んで挨拶をし、およそ95%が友達を大切にし、仲良くしていると回答しています。このことからも友達と仲良く過ごしたり、進んで挨拶をしたりするなど相手を思いやり元気に関わり合おうとしていることがわかります。また質問番号15のように、およそ80%が自分から進んで学習しているなど、前向きに遊びや学習をとらえ進んで活動しようとしていることからも、楽しんで過ごしていることが考えられます。

保護者質問番号18、19のように、一人ひとりを大切にしたり、親身に相談に対応していると感じたり、活躍できる場や認められる場があると回答していただいているように、安心して過ごすことがおよそ87%以上の方が答えていました。このことからも、子どもたちが安心できる場であり、学校生活を楽しんでいることがわかります。

これからも、子どもたちの笑顔を大切にし、学ぶ楽しさや友達と一緒に過ごす楽しさなど、笑顔で安心して過ごせる学校を目指していきます。

【自由記述欄の内容について】

学校教育目標等、学校の取組について

部活動のことや学習面や学級のこと、学校行事などいろいろな面でご意見をいただきました。今年度は、コロナ禍も空けて、学校行事を見直していく中で、変更していることもあります。保護者の方々や子どもたちにとっても今までとは違い、満足しきれないこともあるかと思いますが、今回のご意見を参考にしながらより良い方法を考え、努めていきたいと思います。また、学校ホームページ等にて、子どもたちの様子も随時更新していきたいと思います。

4月行事（参観・懇談・家庭訪問）について

参観授業を通して、子どもたちの様子を見ていたいたり、懇談会に参加することで学級のことがわかつたりして「安心しました」と書いていただきました。またその反面、担任が休んだことや今後の見通しが立ちにくいことなど、多々ご心配をおかけしたこともあり、不安の声を書いていただきました。学校としても、できる限り早い段階で保護者の方々に安心してもらえるように今後とも努めていきたいと思います。

家庭訪問の希望制についてのご意見もいただきました。これからも保護者の方々とよい関係を築き、子どもたちのために連携を深めていきたいと思います。今後ともご心配等ある場合は、学校の方までおっしゃっていただければと思います。よろしくお願ひいたします。

土曜参観・引渡訓練について

参観授業では、子どもたちのがんばっている姿が見られてよかったというご意見をいただきました。平日参観とは違い、土曜参観ということで多くの保護者の方々に参観していただき、子どもたちもいつも以上にはりきりがんばっていたことだと思います。また、今後も子どもたちのがんばりを見ていただけるように工夫しながら進めていきたいと思います。

また、引渡訓練につきましては、手違いもあったようご迷惑をおかけした方もいらっしゃいましたが、多くの方々に参加していただき、もしもの時のためのご確認いただけたのではないでしょうか。ただし、暑い中の実施であることや、実施内容等も今後検討事項としてさらに様々なことを想定しながら行なうことが大切かと思います。子どもたちが安心して学校生活が送れるよう引き続き努めてまいります。

【学校運営協議会 理事会の話し合いから】

児童のアンケート結果からも、子どもたちの自己肯定感が低く、自信をもっていないことが伺えます。情報化社会の中で、情報が多くあり、比較対象が多数あることで自分とできている人たちのことを比べ過ぎているのではないかでしょうか。自分の良いところに自信が持てずにいるように思います。これは大人たちも同じだと思います。それぞれが自己肯定感を高めていくように、お互いに褒め合うなど、できたことやがんばったことに対して素直に感動しあえる存在が大切だと思います。

また地域の良いところを話したり、触れ合ったりする機会がなかなかとれないと回答していることからも、地域行事の復活は必要であると考えています。コロナ禍でできなかったこともあるので、少しずつ形を変えたり工夫をしたりしながら始めてみたいと思います。

学校の教職員においても、アンケートなど、より積極的な参加が必要かと思います。それぞれのふりかえりを大切にして、よりよい学校づくり、子どもの成長に生かしていってほしいと思います。